

euglena Group

2021年9月期第3四半期決算説明

株式会社ユーグレナ

東証一部（証券コード：2931）

【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

【留意点】

2021年8月26日開催の臨時株主総会における定款一部変更の議案の承認可決をもって、当社は決算期（事業年度の末日）を9月末から12月末に変更いたします。第17期は経過期間として2020年10月から2021年12月までの15ヶ月間の決算期となりますが、本日時点では本臨時株主総会の開催前であることから従来どおり「2021年9月期」と表記しております。

2021年8月13日

ユーグレナ[∞]



2021年6月、ようやくユーグレナ社のバイオジェット燃料を使用した
初フライトが実現いたしました。

皆さまとのお約束であった**初フライトが実現**できましたのは、
皆さまより長らくご支援をいただいた賜物であります。
深く感謝を申し上げます。

今後も、応援して頂いている皆さまの期待に応えられるよう、
サステナブルな未来づくりに向けて、一所懸命取り組んでまいります。

代表取締役社長 **出雲 充**



2021/9期3Qハイライト

- ヘルスケア事業の成長により**四半期売上高は過去最高である43億円**を達成
- 足元の進捗と決算期変更*1を踏まえ**連結業績予想*2**を以下の通り更新

売上高

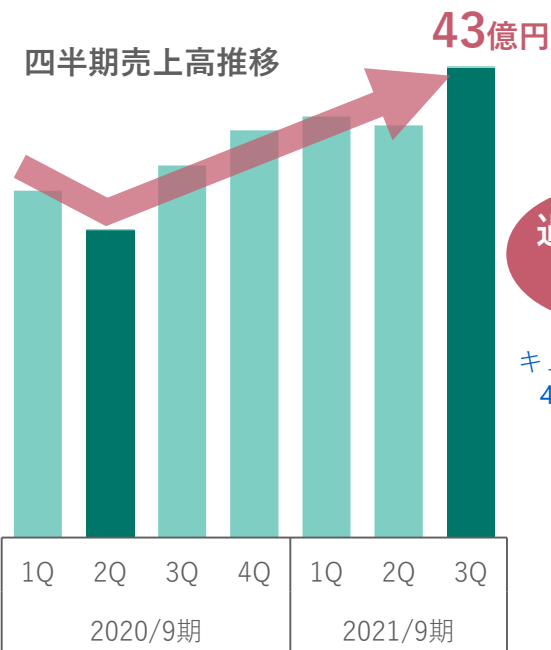
220億円 ▶ **330億円**
(12ヶ月分) (15ヶ月分)

調整後 EBITDA

△2億円 ▶ **1.5億円**
(12ヶ月分) (15ヶ月分)

黒字化

- *1: 2021年8月26日開催予定の臨時株主総会において定款変更に関する議案が承認可決されることをもって効力が発生
*2: 上記決算期変更に関する議案が承認されることを前提に2020年10月-2021年12月の15ヶ月ベースで作成
(キューサイ・グループは2021年7-12月の6ヶ月分を加算)



ヘルスケア領域

- 広告投資再拡大により**売上高、定期購入者数ともに過去最高**



MEJ社「C COFFEE」

- MEJ社の「C COFFEE」売上好調とLIGUNA社の連結貢献が今四半期の成長を牽引



LIGUNA社「あきゅらいず」

先端投資領域（バイオ燃料事業）

- ユーグレナ社のバイオ燃料「サステオ」を用いた**初フライトが実現**



6月4日
国土交通省飛行検査機

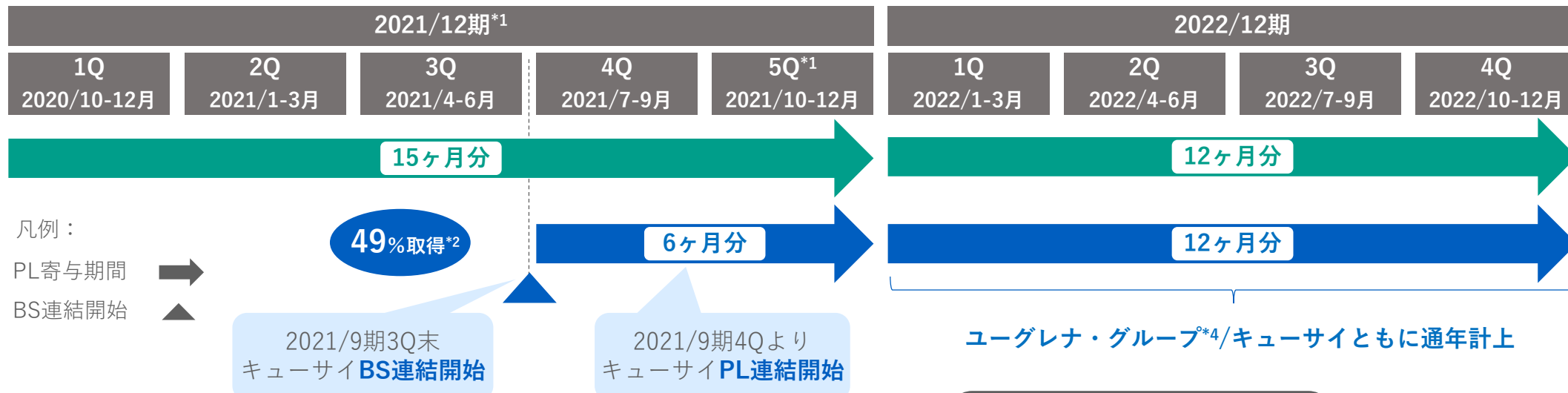


6月29日
ホンダジェットエリート

サステオ

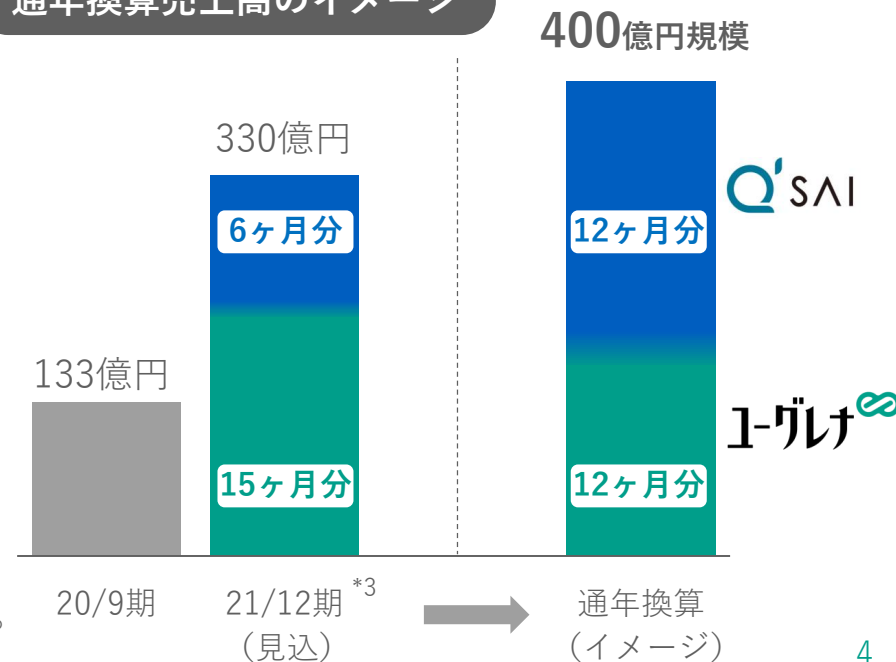


キューサイ連結子会社化と決算期変更に関するスケジュール



- 2021年6月末をみなし取得日としてキューサイを連結子会社化
- 今後の海外展開の可能性も見据え、当社の決算期を9月末から12月末に変更予定*3
- 上記の結果、2021/12期はユーグレナ・グループ*4 15ヶ月分/キューサイ6ヶ月分のPL寄与

通年換算売上高のイメージ



*1: 決算期変更の経過期間となる2021/12期は、2020年10月1日から2021年12月31日までの15ヶ月間の決算期間となる予定
 *2: 2021年6月30日を連結決算上のみなし取得日として、キューサイ・グループ（Q-Partners含む）を連結子会社化
 *3: 決算期変更は、2021年8月26日開催予定の臨時株主総会において定款変更に関する議案が承認可決されることをもって効力が発生
 *4: キューサイ・グループによるPL寄与と区分するため、便宜上キューサイ・グループを除く当社グループを「ユーグレナ・グループ」と称する



1. 2021年9月期第3四半期決算ハイライトと業績予想修正	6
2. ヘルスケア領域	11
3. 先端投資領域（バイオ燃料事業）	18
4. コーポレート/ESG	24
5. 補足資料	26



1. 2021年9月期第3四半期決算ハイライトと業績予想修正

2021年9月期第3四半期業績

留意点

2021/9期4Q (2021年7月~) よりキューサイのPL連結開始
2021/9期3Qの数値は、キューサイを除くユーグレナ・グループのみを示す

2021/9期3Qは過去最高売上高を達成。調整後EBITDAは広告費増加と助成金収入減少*1により減少
2021/9期3Q累計は対前年同期比で増収増益となり好調な推移

(単位：百万円)	2021/9期3Q (2021年4月-2021年6月)			2021/9期3Q累計 (2020年10月-2021年6月)		
	①	②	①－②	③	④	③－④
	実績	前四半期	前四半期比	実績	前年同期	対前年同期比
売上高	過去最高売上高 4,376	3,826	+ 549	12,113	9,536	増収増益 +2,577
営業利益	△335	△143	△192	△844	△1,094	+250
調整後 EBITDA*2	△86	345	△431	129	△302	+431
経常利益	△312	179	△491	△440	△822	+381
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△100	164	△265	△296	△819	+522

*1: 助成金は毎期3月末(2Q)に支給が多くなる傾向

*2: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費) + 助成金収入 + 株式関連報酬

Note 上記は決算短信に合わせ百万円未満を切り捨てて記載。他のページのチャート、テーブルの記載値は百万円未満を四捨五入しているため、一部数値が一致しない場合有

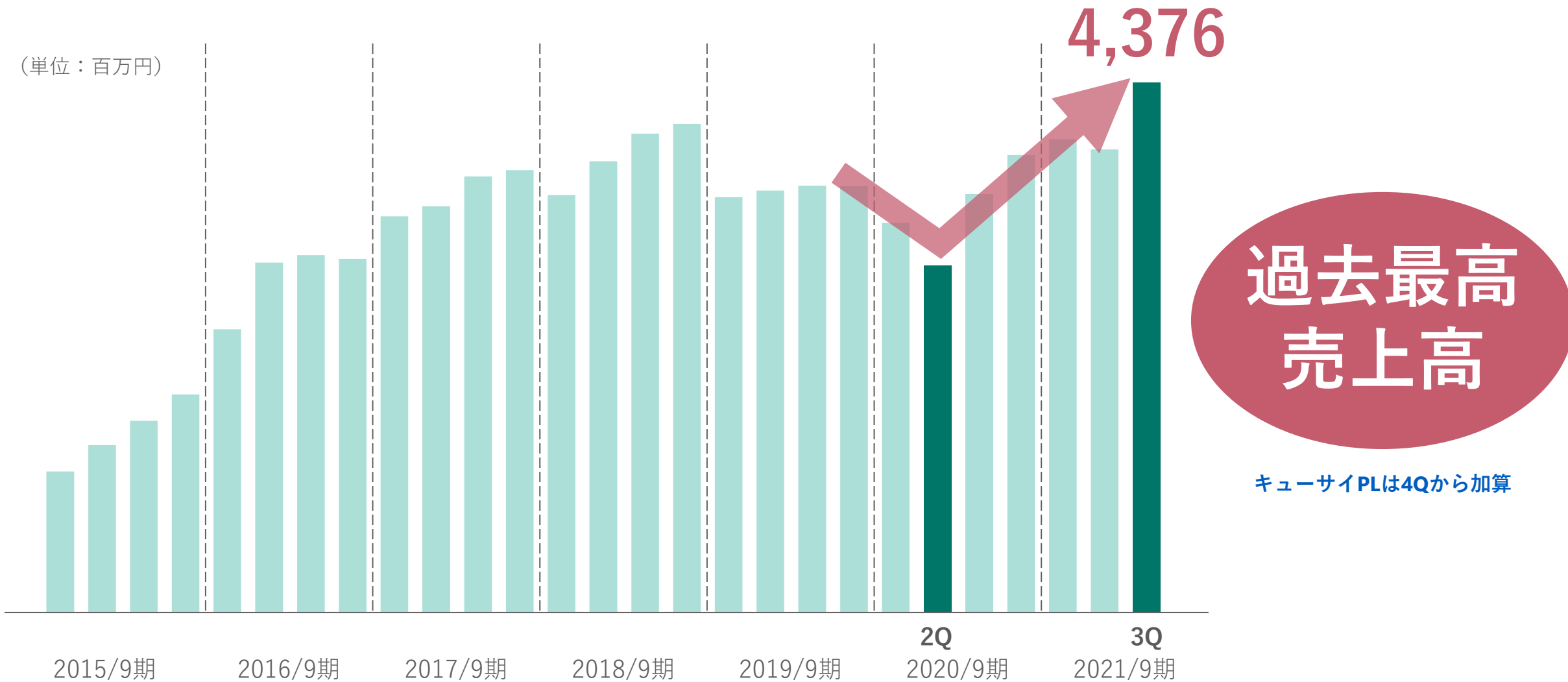
四半期売上高推移

留意点

2021/9期4Q (2021年7月~) よりキューサイのPL連結開始
2021/9期3Qの数値は、キューサイを除くユーグレナ・グループのみを示す

ヘルスケア事業の持続的な成長に向けた事業変革により2020/9期2Qを底にV字回復
2021/9期3Qの四半期売上高は過去最高の43億円を達成

(単位：百万円)



過去最高
売上高

キューサイPLは4Qから加算

セグメント別売上/調整後EBITDA

留意点

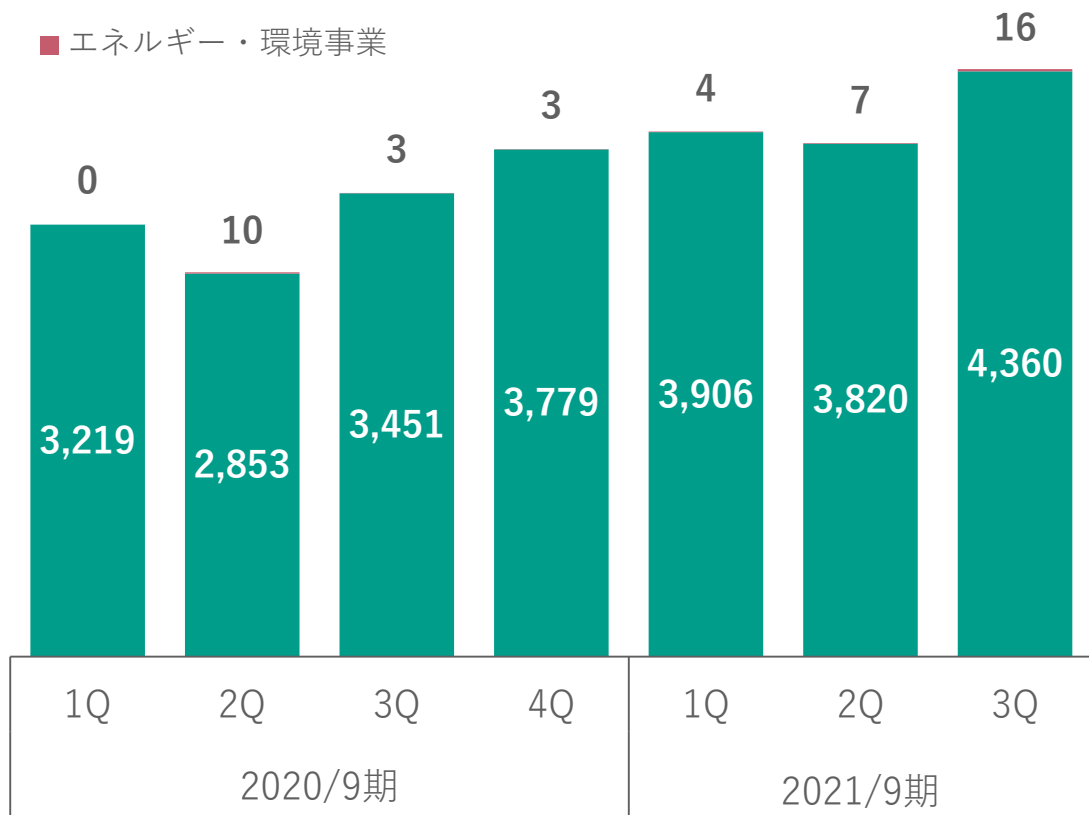
2021/9期4Q (2021年7月~) よりキューサイのPL連結開始
2021/9期3Qの数値は、キューサイを除くユーグレナ・グループのみを示す

過去最高売上高の要因はヘルスケア事業。ヘルスケア事業の黒字がエネルギー・環境事業への投資原資を創出

セグメント別売上高

(単位：百万円)

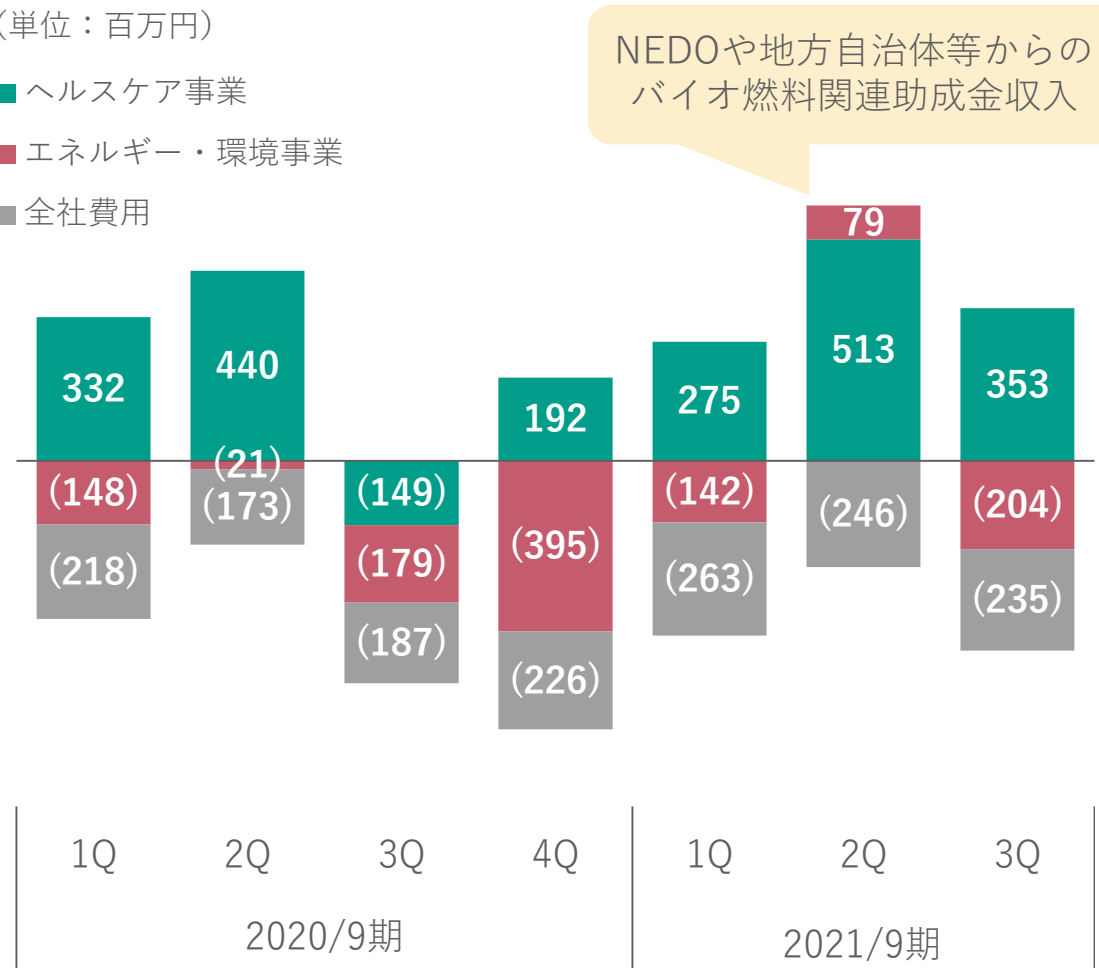
- ヘルスケア事業
- エネルギー・環境事業



セグメント別調整後EBITDA

(単位：百万円)

- ヘルスケア事業
- エネルギー・環境事業
- 全社費用

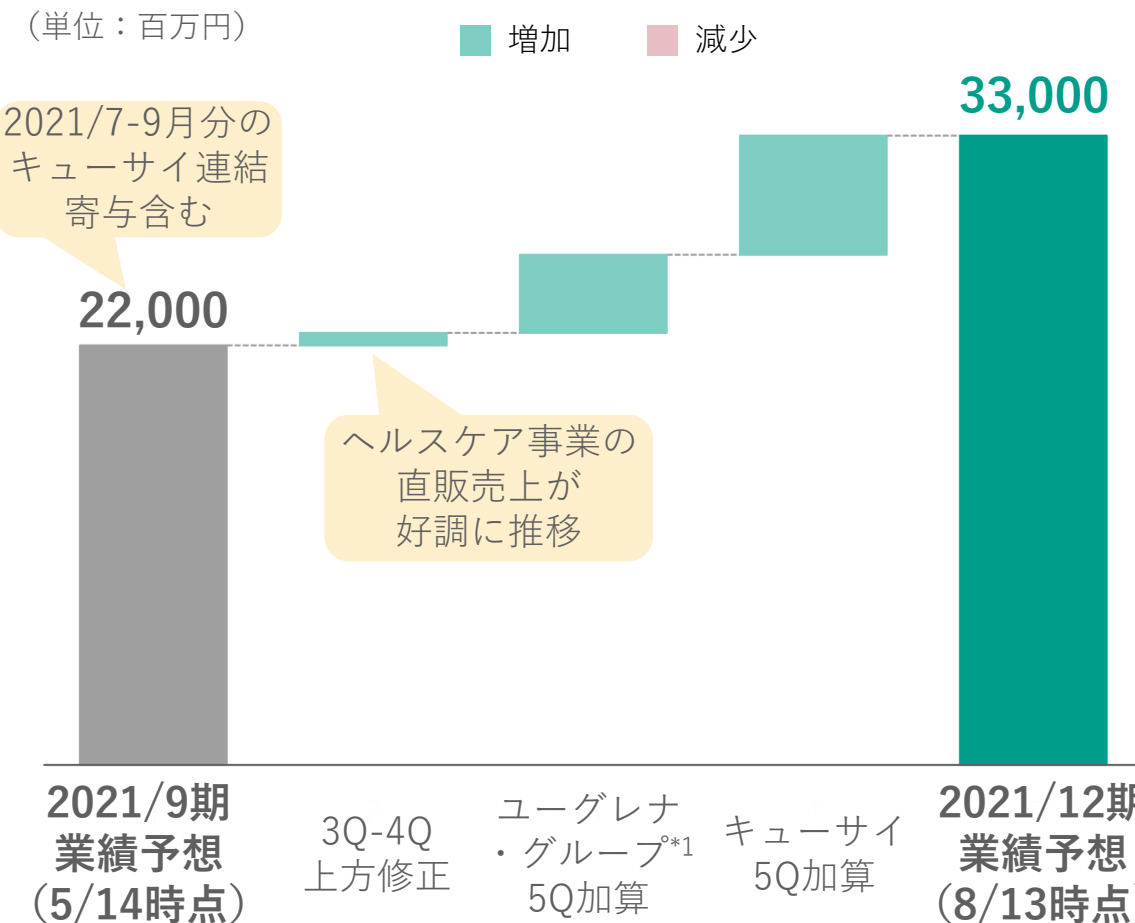


2021年12月期連結業績予想

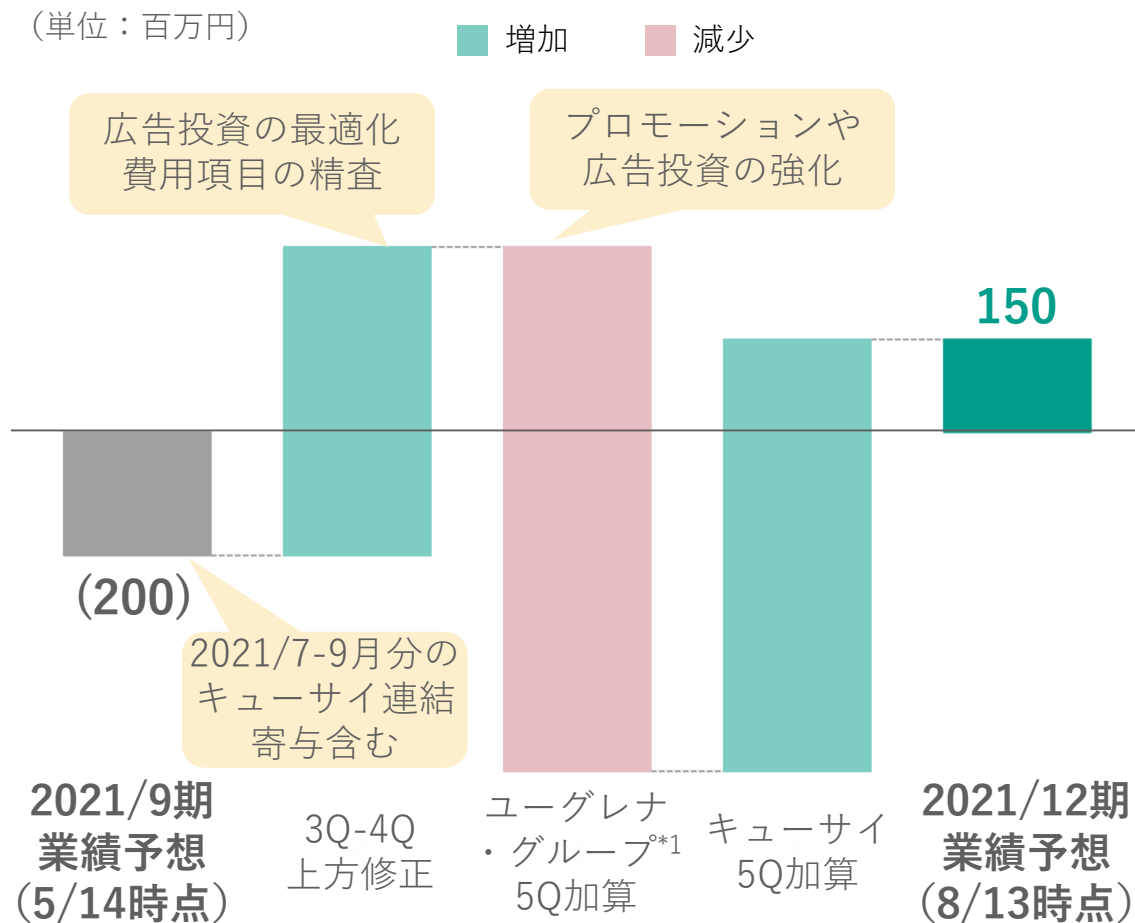
留意点 2021年8月26日開催予定の臨時株主総会において、定款変更に関する議案が承認可決されることを前提に業績予想を修正

足元の順調な進捗と決算期変更を踏まえ、連結業績予想を15ヶ月ベース（2020年10月～2021年12月）に更新

売上高予想の修正要因イメージ



調整後EBITDAの修正要因イメージ



*1: キューサイ・グループによるPL寄与と区分するため、便宜上キューサイ・グループを除く当社グループを「ユーグレナ・グループ」と称する

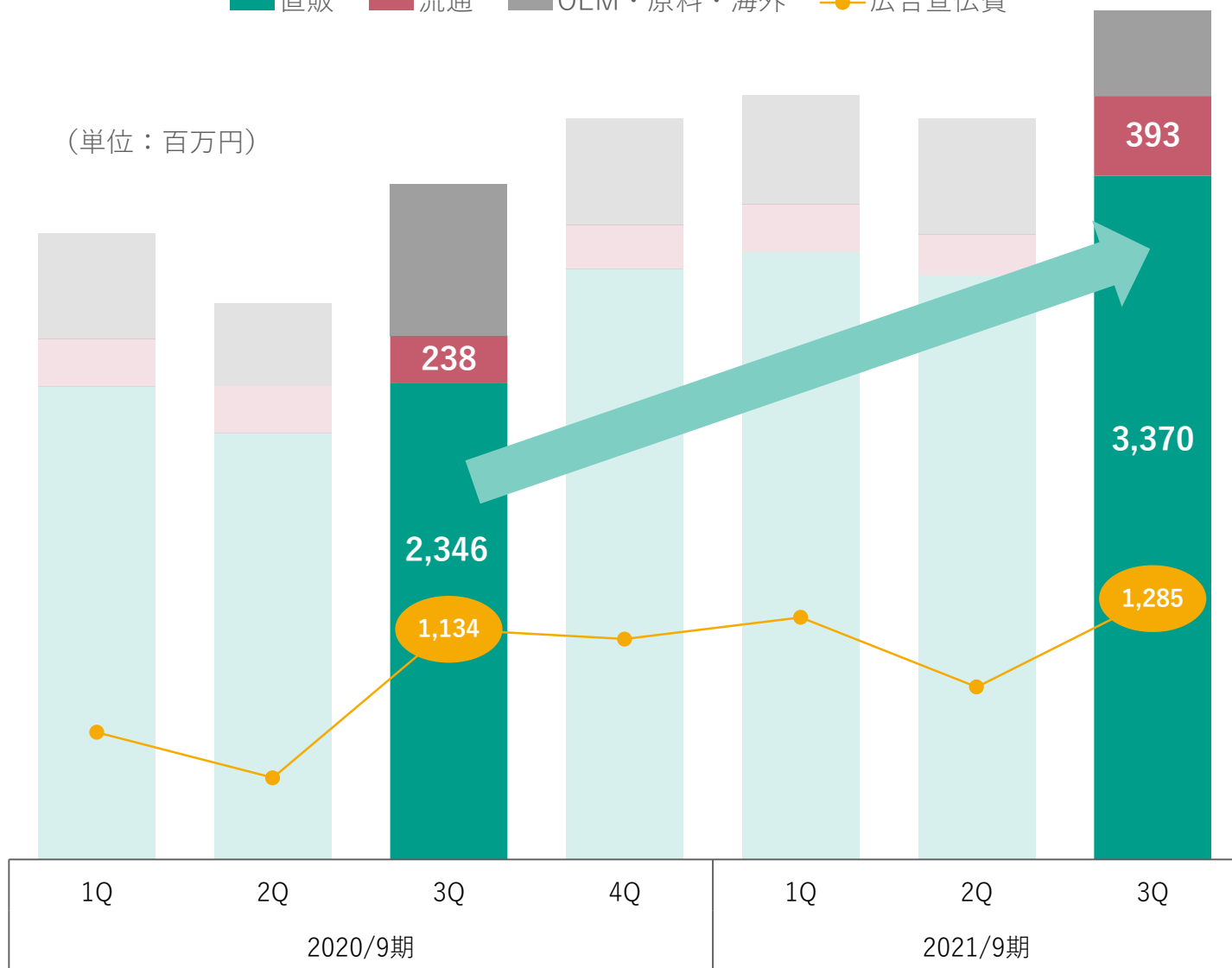
ユグlena[∞]

2. ヘルスケア領域

チャネル別四半期売上高推移

■ 直販 ■ 流通 ■ OEM・原料・海外 ● 広告宣伝費

(単位：百万円)



直販

- 2021/9期3Qは広告投資再拡大により、**売上高、定期購入者数^{*1}とも過去最高**（32万人）

流通

- MEJ社の「C COFFEE」を流通店舗で展開開始
流通の売上成長に貢献



*1: キューサイ・グループの定期購入者数は含まない

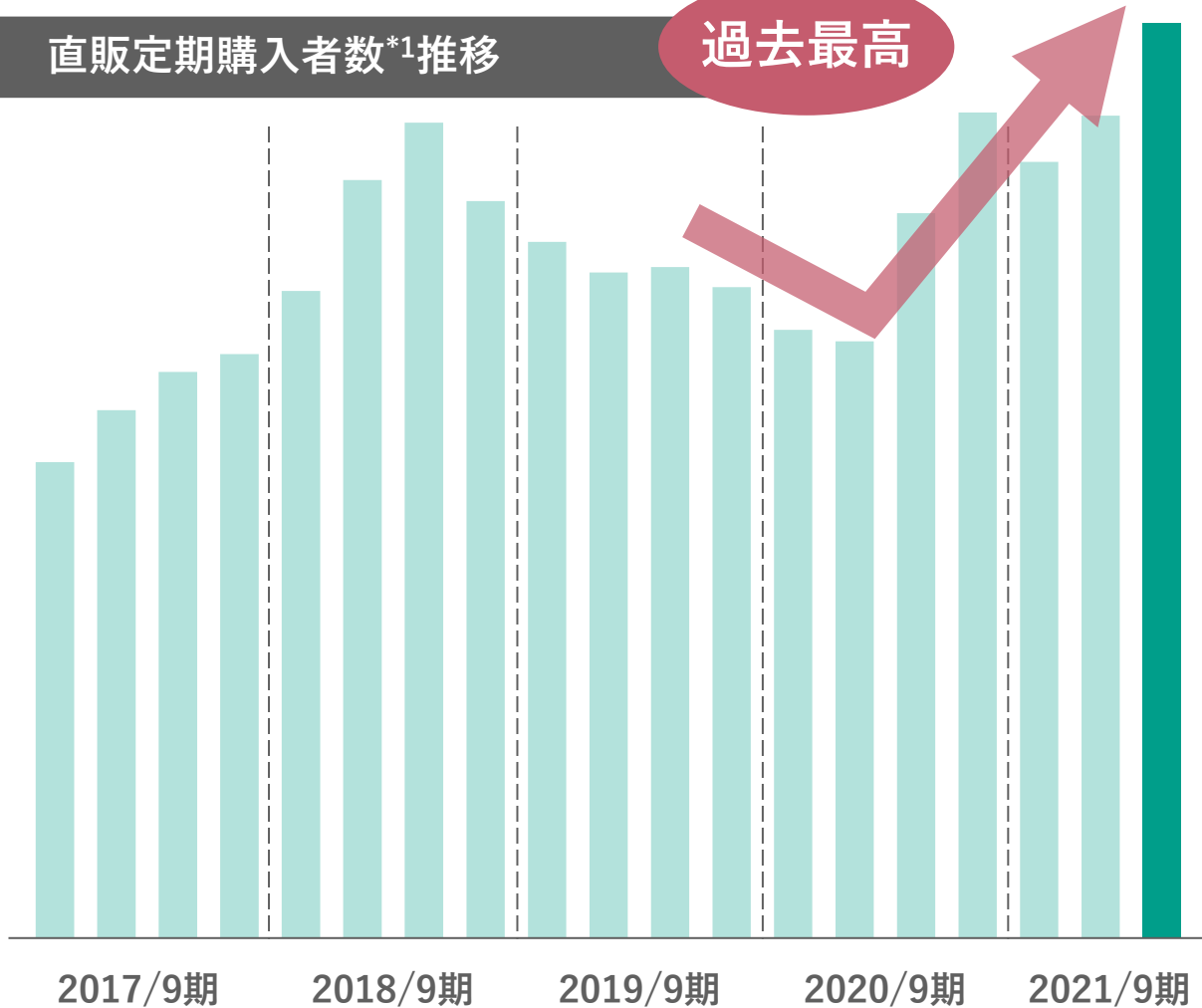
直販主要KPI推移

定期購入者数は過去最高の32万人を突破

32万人

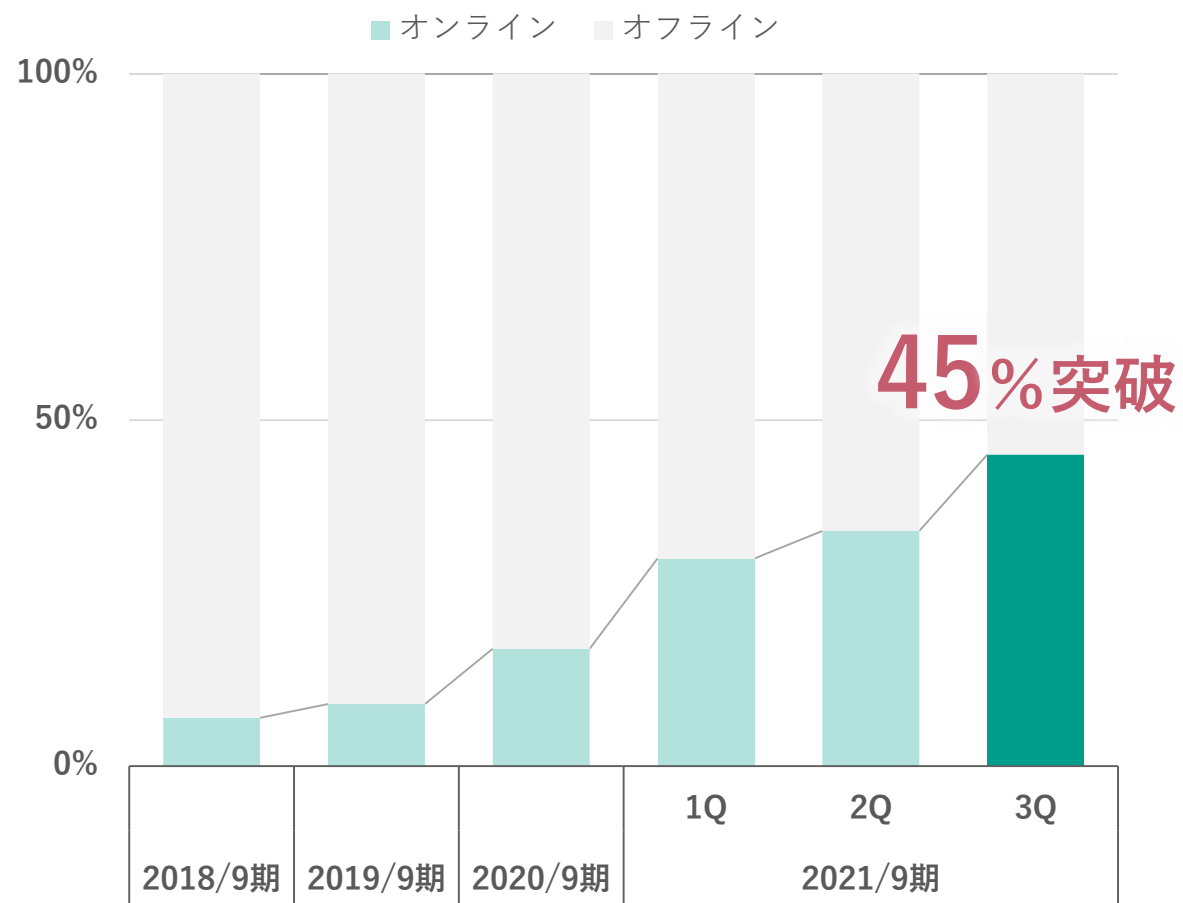
直販定期購入者数*1推移

過去最高



直販オンライン売上高比率

過去最高



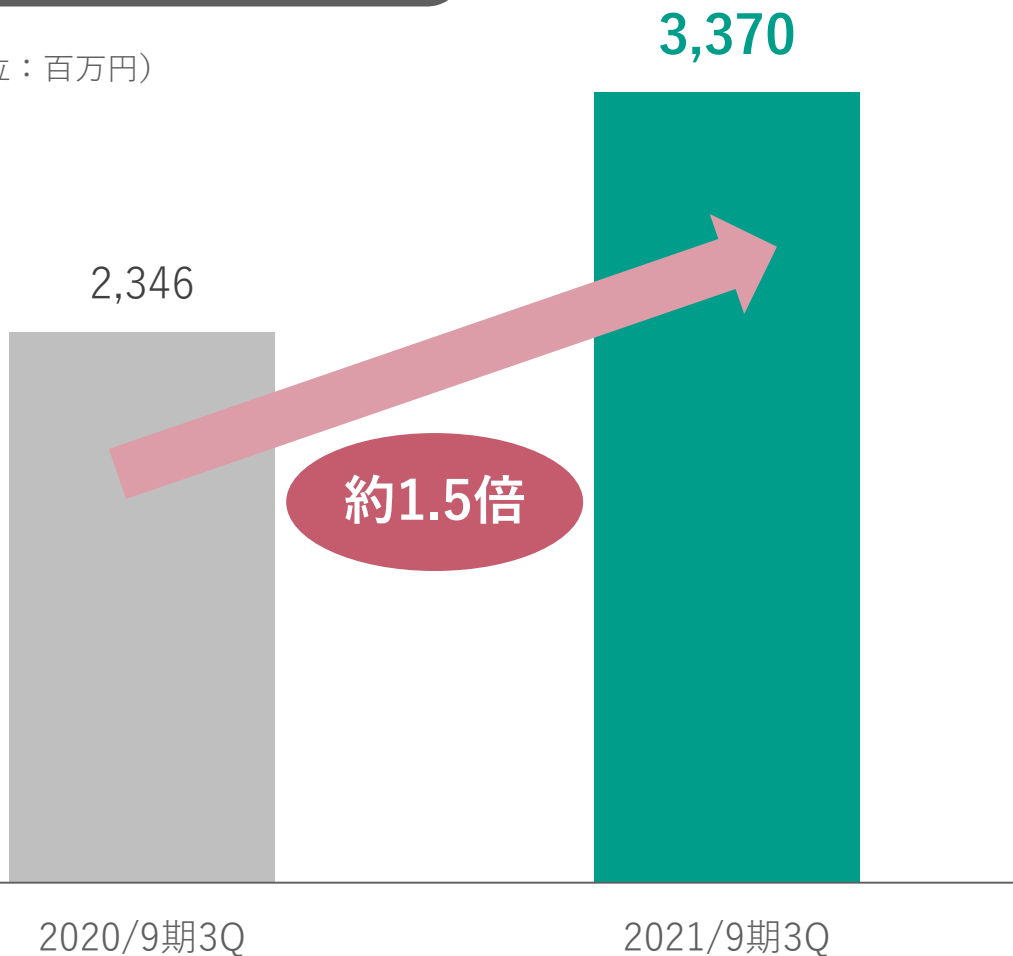
*1: キューサイ・グループの定期購入者数は含まない

直販売上高（前年同期比）

直販売上高は、MEJ社の「C COFFEE」売上好調とLIGUNA社の連結貢献により対前年同期比で約1.5倍に成長

直販売上高

(単位：百万円)



ユーグレナ・グループ^o*1の主要ブランド（直販）

からだにユーグレナ

ユーグレナ社



one

ユーグレナ社



epo

エポラ社



C COFFEE

MEJ社



今期3Qも
売上好調

あきゅらいず

LIGUNA社



2021年3月
より連結化

*1: キューサイ・グループによるPL寄与と区分するため、便宜上キューサイ・グループを除く当社グループを「ユーグレナ・グループ」と称する
Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

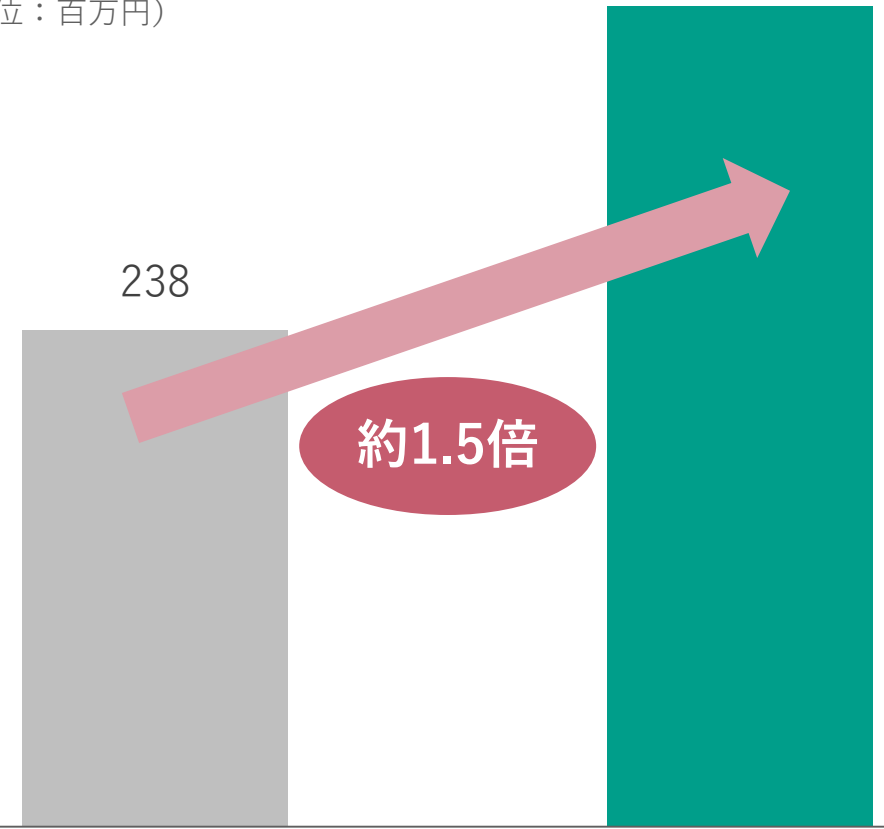
流通売上高（前年同期比）

流通売上高は、「C COFFEE」の流通店舗展開により対前年同期比で約1.5倍に成長
 今後もユーグレナ社の流通チャネルを活用し、グループ会社商品の展開を推進

流通売上高

393

(単位：百万円)



2020/9期3Q

2021/9期3Q

ユーグレナ・グループ*1の主要ブランド（流通）

からだにユーグレナ



B.C.A.D.

ユーグレナ社



Chikara

ユーグレナ社



C COFFEE



今期3Qから
展開開始

配荷店舗数は
4月の展開開始から
3ヶ月で約**2.5**倍に



LOFT 渋谷店

*1: キューサイ・グループによるPL寄与と区分するため、便宜上キューサイ・グループを除く当社グループを「ユーグレナ・グループ」と称する
 Copyright © euglena Co.,Ltd. All rights reserved.

ヘルスケア領域における活動：認知拡大

基幹ブランド「からだにユーグレナ」の認知、浸透のための施策が続々スタート

新商品の導入



まもり続ける高濃度乳酸菌を配合！
「からだにユーグレナ グリーンタブレット 乳酸菌」が新登場

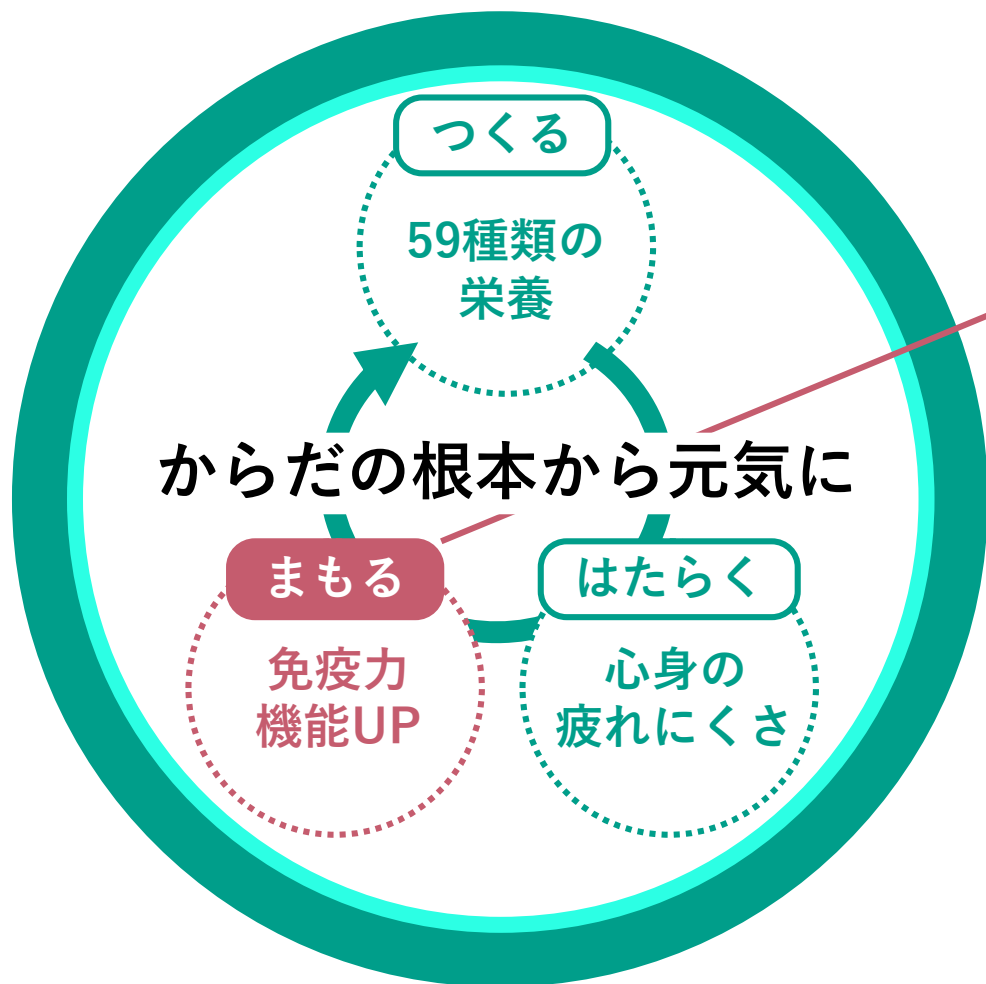
おいしさの追求

ユーグレナ
とは
あ
おいしくする
だけ
プロジェクト



- レストラン「sio」のオーナーシェフ/鳥羽周作氏が「コーポレートシェフ」に就任
- 「石垣島ユーグレナ」独自の“うまみ”に注目した『ユーグレナ あとはおいしくするだけプロジェクト』を発足

ユーグレナの訴求便益を強化すべく、ヒト臨床試験を始めとするさまざまな研究結果を追加発表



免疫力機能UP

- ✓ 胃がんの初期病変に対するユーグレナの効果を示唆 (2021.07.02発表)
- ✓ アトピー性皮膚炎の重症度に対するユーグレナの効果を示唆 (2021.07.05発表)

3. 先端投資領域（バイオ燃料事業）

ユーグレナ社バイオ燃料を用いた 初のフライト実施、成功

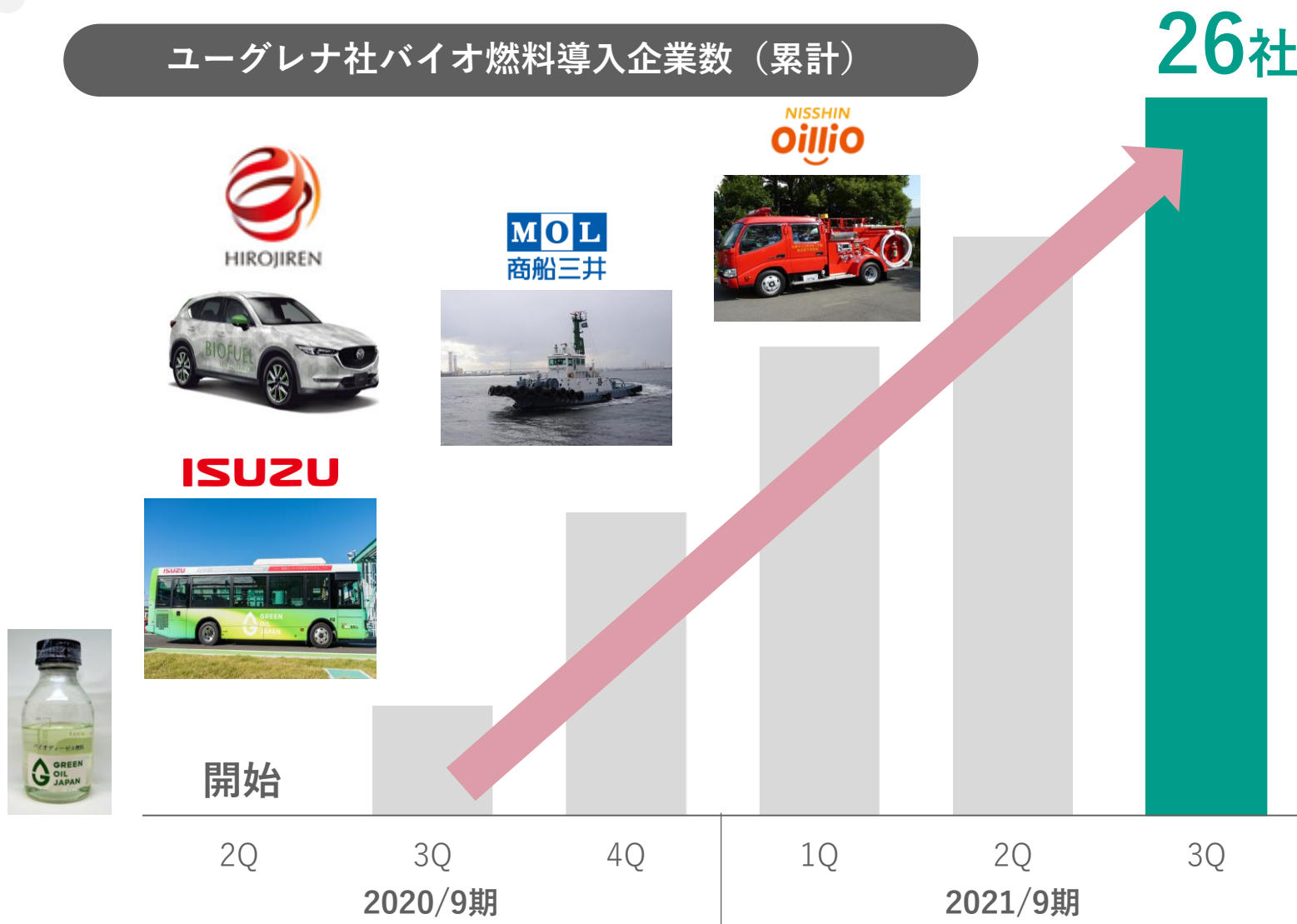


- 2021年6月4日、国土交通省飛行検査機に初供給。当社バイオジェット燃料で世界初のフライト実施
- 2021年6月29日、「HondaJet Elite（ホンダジェットエリート）」に当社バイオジェット燃料を供給

民間企業へのバイオ燃料供給

バイオ燃料供給先は順調に増加しており、導入民間企業数は26社にのぼる

ユーグレナ社バイオ燃料導入企業数（累計）



直近の導入企業例

株式会社JR東日本環境アクセス



鈴与商事株式会社



行政/公共機関へのバイオ燃料供給

バイオ燃料供給を行政/公共機関に対しても実施、拡大

国土交通省飛行検査機へ供給



- 2021年6月4日、国土交通省飛行検査機に初供給。政府機関の航空機で国産のバイオジェット燃料が使用されるのは日本初
- 赤羽一嘉国土交通大臣がバイオジェット燃料の給油等を視察

鉄道/運輸機構と包括連携



- 2021年7月7日、独立行政法人鉄道建設/運輸施設整備支援機構と「包括連携に関する基本合意書」を締結
- 今後、内航船舶や鉄道建設現場におけるユーグレナ社のバイオ燃料利用の可能性を探るための導入試験を検討中

生活者へのバイオ燃料供給

プライベートジェットへの供給やガソリンスタンドでの販売、多くのメディア露出により一般生活者にとってもユーグレナ社のバイオ燃料が少しずつ身近に

HondaJet Elite(ホンダジェットエリート)へ供給



45媒体が取材来場
473件の媒体露出

- 2021年6月29日、当社バイオジェット燃料の民間航空機への初供給
- 2021年秋開始予定の「HondaJet Elite」の一般向けチャーターフライトで、お客様が**申込時に当社バイオジェット燃料の使用を選択可能に**

都内ガソリンスタンドでの販売



24媒体が取材来場
277件の媒体露出

- 2021年4月9日-11日、都内ガソリンスタンドで、ユーグレナ社の**次世代バイオディーゼル/ハイオク燃料**を一般販売
- 3日間限定イベントで給油車両数は前年同月比で**1.4倍に増加**

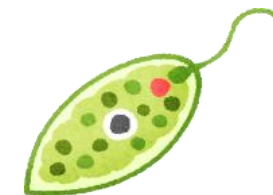
ユーグレナ社のバイオ燃料を「サステオ」と命名

バイオ燃料が日常的に使える社会を目指し、**廃棄物や藻類を原料とする「サステオ」**を世界に広める



廃棄物由来

藻類（ユーグレナ等）由来



- 『サステオ』の原料として採用
- 廃棄物は資源の再利用となるため、環境負荷が低い
= 海外でもバイオ燃料の主要な原料として利用
- 藻類（ユーグレナ等）は耕作不能地でも培養可能
= 食料との競合や森林破壊等の問題が少ない

耕作不能地



燃料用農地

追加での農地開発不要

- ユーグレナ社のバイオ燃料のブランド名を『サステオ*1』に決定

*1: 「サステナブルなオイル」が由来。使用済み食用油と、微細藻類ユーグレナ等の微細藻類が原料

4. コーポレート/ESG

定款の事業目的を、SDGsを反映した内容に全面刷新

留意点

2021年8月26日開催予定の臨時株主総会において、定款変更に関する議案が承認可決されることを前提に作成

ユーグレナ・フィロソフィー「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」の実効性を法的側面からも高めるため、「持続可能な社会の実現を目指す」旨を定款に明記。定款変更案はCFO監修のもと作成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 定款の絶対的記載事項の一つである「事業目的」を、**SDGsの17の目標を反映**する形に刷新
- ユーグレナ・フィロソフィー「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」を定款上でも体現



CFOおよびサミットメンバー*1からのコメント

- サステナビリティという価値観を社会に浸透させる一助となって欲しい
- 新たな事業目的に沿った企業活動を実践するとともに、その進捗を経営会議等でモニタリングし、結果を社会に開示するような仕組みを構築してほしい

*1 CFOはChief Future Officer（最高未来責任者）の略で会社と未来を変える役割を担う。サミットメンバーはCFOとともに、ユーグレナ社のサステナビリティに関するアクション、および達成目標の策定に携わるメンバー

ユ-グレナ[∞]

5. 補足資料



いきる、たのしむ、サステナブル。

創業	2005年8月9日
本店	東京都港区芝5-29-11
資本金	138億7,888万円（2021年6月末時点）
社員数*1	459名（連結）（2020年9月末時点）
グループ会社	完全子会社8社、キューサイ・グループ5社 海外合弁会社2社（上海、ダッカ）（2021年6月末時点）
フィロソフィー	Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）
上場市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	2931
株主数	105,133名（2021年6月末時点）

*1： 社員数：役員、従業員、契約社員、アルバイト、派遣の合計

連結損益計算書サマリー

(百万円)		2019/9期						2020/9期					2021/9期				
		1Q	一括費用 計上除く *1	2Q	3Q	4Q	合計	一括費用 計上除く *1	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	合計
売上高		3,432	3,432	3,487	3,526	3,522	13,968	13,968	3,219	2,863	3,454	3,781	13,317	3,911	3,827	4,376	12,114
	直販	2,549	2,549	2,471	2,497	2,377	9,894	9,894	2,332	2,103	2,346	2,911	9,691	2,993	2,880	3,370	9,242
	流通	405	405	379	335	299	1,418	1,418	234	231	238	219	922	236	201	393	831
	OEM・原料・海外	358	358	470	555	541	1,924	1,924	524	406	747	523	2,200	539	571	422	1,532
	その他	120	120	168	139	306	733	733	130	123	123	129	504	142	175	191	509
売上原価		858	858	1,000	1,018	1,134	4,010	4,010	878	824	1,110	1,013	3,825	1,056	1,018	1,107	3,180
売上総利益		2,573	2,573	2,487	2,509	2,388	9,958	9,958	2,342	2,039	2,344	2,768	9,492	2,855	2,809	3,270	8,934
粗利率		75%	75%	71%	71%	68%	71%	71%	73%	71%	68%	73%	71%	73%	73%	75%	74%
販売費 及び 一般 管理費		9,031	2,660	2,553	2,693	3,140	17,418	11,047	2,586	2,155	3,078	3,481	11,300	3,221	2,952	3,605	9,778
	販売費	1,620	1,620	1,546	1,681	1,775	6,623	6,623	1,534	1,136	1,970	2,020	6,659	2,116	1,754	2,238	6,108
	(内 広告宣伝費)	674	674	697	784	861	3,016	3,016	626	403	1,134	1,086	3,250	1,193	850	1,285	3,328
	人件費	442	442	421	438	490	1,791	1,791	474	435	467	496	1,872	459	480	538	1,477
	管理費	401	401	354	407	417	1,579	1,579	360	333	397	485	1,575	418	502	540	1,460
	研究開発費	6,568	197	232	166	459	7,425	1,054	219	251	245	480	1,195	228	215	290	733
営業利益		-6,458	-87	-66	-184	-752	-7,460	-1,089	-244	-116	-734	-714	-1,808	-366	-143	-335	-844
調整後EBITDA*2		162	162	291	231	-475	210	210	-34	246	-515	-430	-732	-129	345	-86	129
営業外損益		36	36	132	181	38	387	387	28	195	49	78	350	59	322	23	404
	(内 助成金収入)	18	18	109	167	25	320	320	30	183	42	74	329	49	276	5	330
経常利益		-6,422	-51	66	-3	-715	-7,073	-703	-216	79	-684	-636	-1,458	-306	179	-313	-440
特別損益		0	0	2	5	-2,539	-2,532	-2,532	0	12	0	11	23	-0	12	170	182
親会社株主に帰属する 当期純利益		-6,495	-124	38	-81	-3,261	-9,799	-3,428	-253	109	-675	-668	-1,487	-360	164	-101	-297
◆参考指標																	
減価償却費		140.9	140.9	149.7	145.2	140.1	575.9	575.9	135.7	134.1	132.5 ^{*3}	165.2	567.5	138.9	153.4	178.0	470.3
	(内 M&A関連)	18.7	18.7	18.7	18.7	18.7	75.0	75.0	18.7	18.7	18.7	18.7	75.0	18.7	18.7	49.3	86.8
のれん償却額		90.3	90.3	90.3	95.1	104.9	380.6	380.6	37.8	37.8	37.8	37.8	151.3	37.8	46.9	45.1	129.9

*1: バイオ燃料製造実証プラントの建設関連費用: 6,370百万円

*2: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費+バイオ燃料製造実証プラントの建設関連費用)+助成金収入+株式関連報酬

*3: 集計上の軽微な誤差があったため訂正を実施

連結貸借対照表サマリー

2021/6末より
キューサイBS連結開始

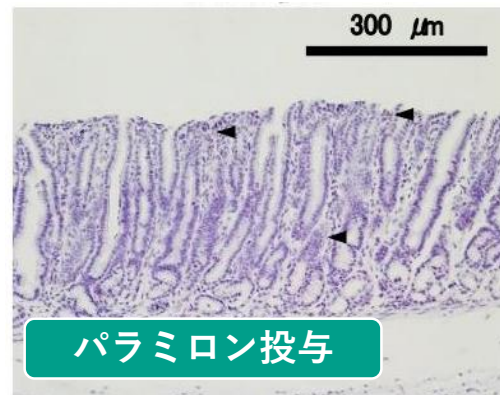
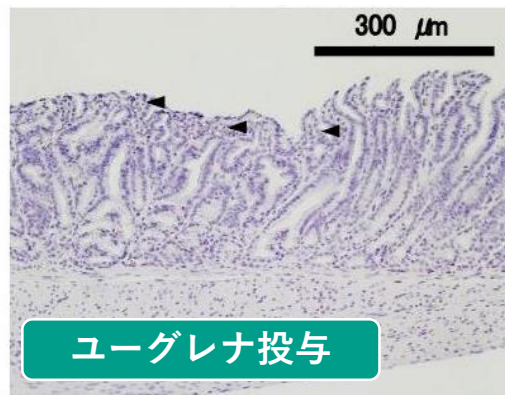
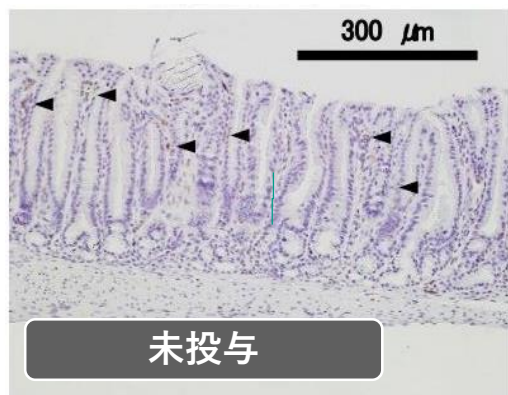
(百万円)	2021/3末	2021/6末	増減額	キューサイBS加算以外の主な増減要因
流動資産	10,898	18,925	8,026	
現金及び預金	6,983	10,761	3,778	
その他	3,916	8,164	4,248	
固定資産	10,457	40,099	29,642	
有形固定資産	4,142	6,910	2,768	
無形固定資産	2,635	31,551	28,917	キューサイ連結に伴うのれん ^{*1} 計上
投資その他の資産	3,680	1,637	-2,043	
(内 投資有価証券)	3,341	362	-2,979	キューサイ連結時の投資勘定の消去による減少
総資産	21,355	59,023	37,668	
負債	10,288	34,777	24,489	
流動負債	5,516	9,654	4,138	
(内 短期借入金)	3,457	2,196	-1,261	
固定負債	4,772	25,123	20,351	
(内 長期借入金)	4,104	23,743	19,639	キューサイ株式取得にかかるSPC借入金
純資産	11,067	24,246	13,179	
株主資本	11,069	23,951	12,881	
(内 資本金)	7,329	13,879	6,550	海外募集による新株発行
(内 資本剰余金)	4,064	10,614	6,550	海外募集による新株発行
(内 利益剰余金)	-289	-508	-219	
その他	-2	295	298	
負債・純資産合計	21,355	59,023	37,668	

*1: 2021/6末時点のBSでは、キューサイ・グループ連結に伴うのれんを暫定金額で計上。取得原価の確定及び配分は第4四半期以降に完了する予定

機能的な研究成果：胃がんの初期病変に対するユーグレナの効果を示唆

胃がんの原因となる胃粘膜の炎症を、ユーグレナおよびパラミロンの摂取が抑制することを示唆

胃粘膜の炎症性細胞へのユーグレナとパラミロンの影響



- 粘膜部分（写真紫色部分）に、炎症（腫れ）があり、炎症性細胞*1（◀）も見られるマウスの胃粘膜

- ユーグレナ/パラミロンを投与することで、粘膜の炎症にかかわる炎症性細胞*1が少なく炎症が抑制されている

*1: 粘膜の炎症に関わるCD3陽性Tリンパ細胞のこと。図中の◀がCD3陽性Tリンパ細胞を示す

胃がん進行の初期ステップで効果

胃がんは3ステップで進行

- 1 慢性的な胃粘膜の炎症
- 2 異常な細胞増殖
- 3 がん化

ユーグレナとパラミロン投与により、①の段階で胃粘膜の炎症を軽減させる効果を示唆

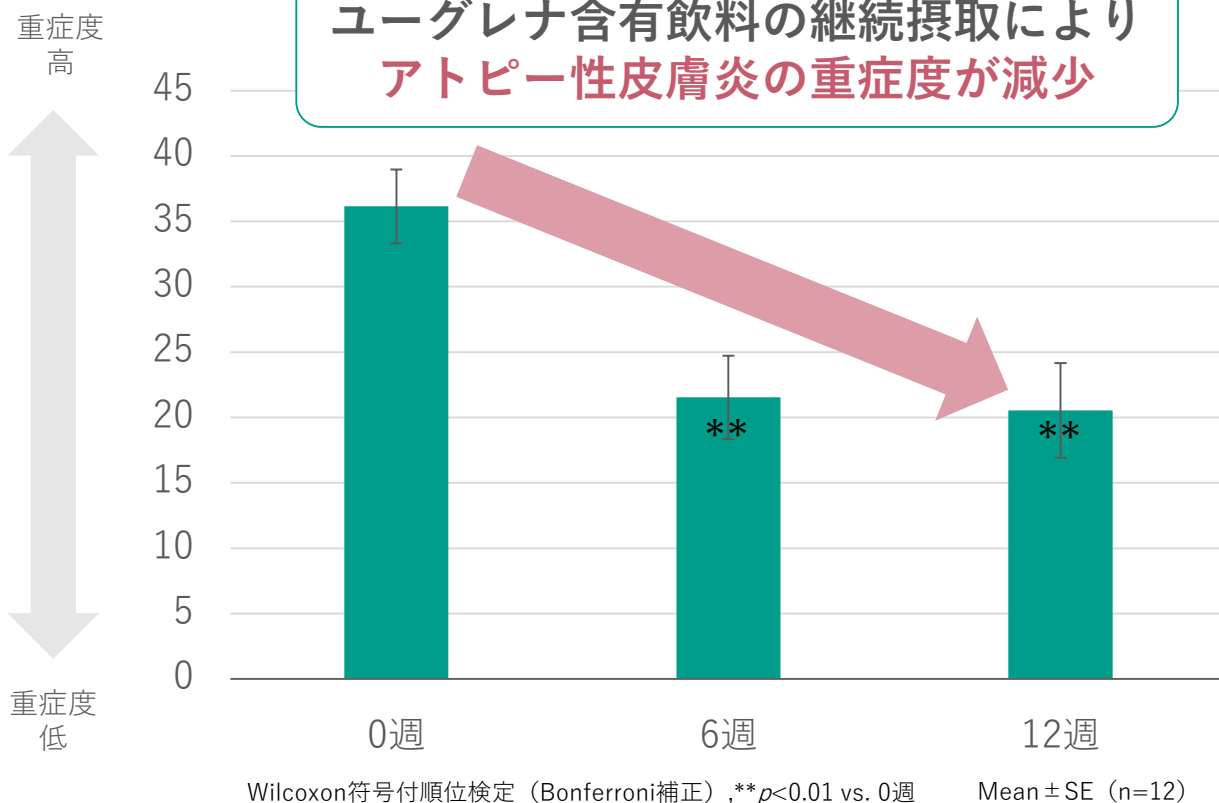
機能的な研究成果：アトピー性皮膚炎の重症度に対するユーグレナの効果を示唆

幼児アトピー性皮膚炎スコア並びに幼児/養育者それぞれのQOLも改善

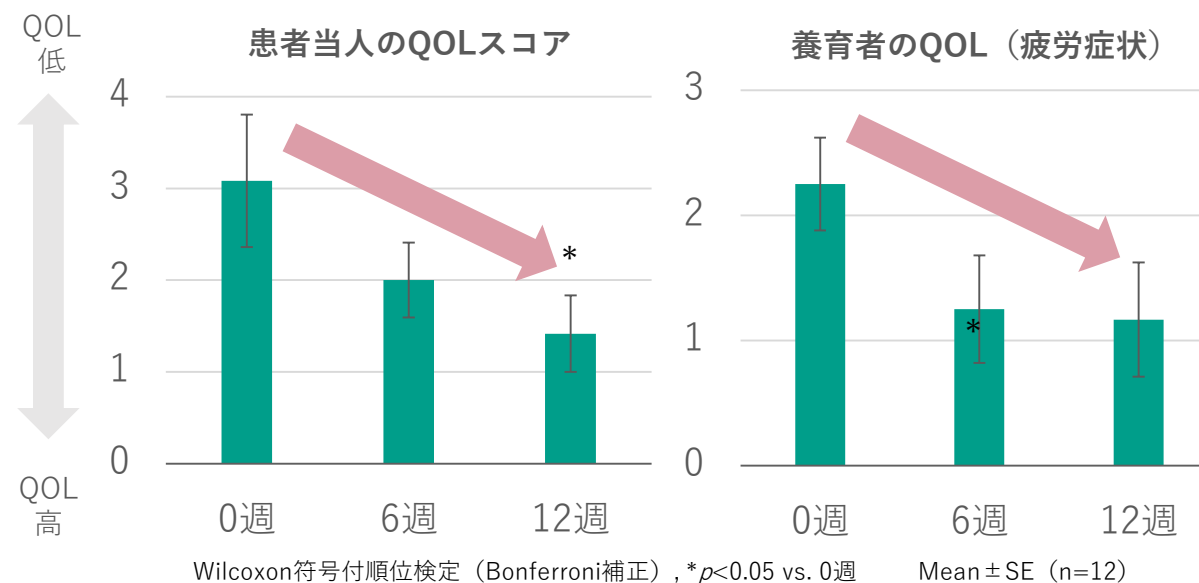
医師によるアトピー性皮膚炎の重症度評価（SCORAD*1）

幼児、養育者のQOL*2（Quality Of Life=生活の質）評価

ユーグレナ含有飲料の継続摂取により
アトピー性皮膚炎の重症度が減少



ユーグレナ含有飲料の継続摂取により
子どものアトピー性皮膚炎患者及び
その養育者のQOLが改善



*1: 医師によるアトピー性皮膚炎の重症度の評価項目。「A:皮疹の範囲」「B:湿疹の強さ」「C:自覚症状」の計3項目に対する回答結果をもとにSCORAD合計スコアを算出 (103点満点)

*2: アトピー性皮膚炎の治療は長期間にわたりやすく、また、高頻度な薬剤塗布等のケアが必要のため、患者本人のみならず保護者のQOLにも及ぼす影響が大きい。

ユ-グレナ 

いきる、たのしむ、サステナブル。